

本書作成にあたり監査協力いただきました方々に
厚く御礼申し上げます。

外部監査

国立大学法人 千葉大学総合安全衛生管理機構 環境安全部長
町田 基 教授

内部監査

大岡山地区安全衛生委員会委員長 中井 検裕 教授
すずかけ台地区安全衛生委員会委員長 久堀 徹 教授
田町地区安全衛生委員会委員長 佐伯 元司 教授



「東京工業大学 環境報告書2018」 発刊によせて

総合安全管理部門長

岡田 哲男

本学は「世界トップ10に入るリサーチユニバーシティ」を目指して、教育改革、研究改革、ガバナンス改革を進めています。昨年度末には「指定国立大学法人」に指定され、日本のトップ国立大学であることが認められました。日本のそして世界のトップ大学であるためには、教育や研究が一流であるだけでなく、環境、安全、衛生でも一流でなければなりません。本学は、大岡山、すずかけ台、田町の3キャンパスで、合計1万4千人あまりの学生・教職員等が、日々勉学、研究、職務に励んでいる都市型大学です。周辺環境・社会はもとより地球環境への配慮を常に念頭においた教育・研究活動が求められます。本学では、研究によって社会に貢献するだけでなく、環境・安全に配慮した研究活動、それを推進するための教育を通じて、環境、安全に精通した人材を国内外に輩出することでも社会に貢献することを目指しています。

皆様からのご意見・提言を参考に、本学の取り組みをわかりやすくご報告することを目的としてこの報告書を毎年度発行しており、環境・安全に貢献する具体的な研究例、環境教育、社会貢献活動等の紹介に加えて、本学の環境マネジメントとパフォーマンスの報告等が含まれております。同時に、報告書から研究、教育、社会貢献活動に学生が積極的、主体的に関与していることがおわかりいただけるかと思えます。このような活動は、大学から巣立った後も学生達が環境・安全に積極的に貢献してくれることを期待させます。

大学の環境保全活動に終着点はありません。日々の努力を積み重ね、継続して取り組んで参ります。読者の皆様には、環境報告書を通じて本学の環境への取り組みをご理解いただくと共に、ご意見、ご指導、ご支援を賜れば幸いです。